



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会
2021 年度事業報告
(2021 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

2021 年は年明けから新型コロナウイルスの感染が急拡大し、その後、緊急事態宣言による各種の休業要請や行動自粛、ワクチン接種などの感染予防対策が行われた。後半には全国的に感染者数は減少したものの収束には至らず、第 6 波への危機感を残したままの年越しとなった。大人数での集まりや不急の外出を自粛する傾向は継続しており、ボランティアや市民活動のあり方にも少なからぬ影響を与えた。新たな社会課題に対応するボランタリーな取り組みが始まる一方で、活動の休止や解散を決める団体も出てきている。施設へのボランティアの受け入れやボランティアグループの活動再開への支援、さらには今の時代に合った新たなプログラムを開発していくこともコーディネーターの重要な役割になった。

JVCA では、主催事業の実施や会議開催にオンラインによるコミュニケーションを積極的に採り入れ、一部の事業の中止や計画変更を行ったが、各種の事業が滞ることがないように進めてきた。とりわけ、検定事業においては、感染リスクの低減と受験者の負担軽減のために、急遽、講義の動画視聴や研修のオンライン化など、大きく形態を変更して実施した。また、20 周年を記念したさまざまな企画を実施し、会員はもちろんのこと、これまでお世話になった方々へあらためて感謝の気持ちを伝える機会となった。記念募金も多くの皆さんの協力を得て目標額を上回り、当期では赤字を見込んでいた収支も好転した。20 年という節目に、組織の歴史と運営の特徴を関係者で共有する記念誌をまとめたことで、JVCA の今後のあり方を展望するための基礎資料ができた。

詳しくは個別の事業報告に記すが、年度当初に重点として掲げた事業については、以下にその実施状況を列記する。

重点事業の実施状況について

重点 1 コロナ禍に対応したボランティアコーディネーション力を高めるための多様な研修機会の提供

○e ラーニングやオンライン研修等の充実を図る。

→ボランティアコーディネーター基礎研修、ボランティアコーディネーター全員集合、対談などの研修・講座をオンラインにより実施した。富士通ラーニングメディアと提携した初任者向け e 動画講義（8 週間見放題）は、「ボランティアとコーディネート理解」31 件、ボランティア受け入れのマネジメント」29 件の注文があり、遠隔での学びを可能にした。

○研修体系に基づき、実務者を対象とした研修の充実を図る。

→研修体系に位置付けた研修から時機に適したテーマを取り上げ、新型コロナウイルス感染拡大による活動状況の変化なども内容に加えてオンラインにより実施した。

○職場や団体のニーズに合わせ、訪問型またはオンライン研修を実施する。

→職場研修への講師派遣依頼は2件、新規開拓は図れなかった。

○多様なコーディネーター向けの研修を充実させる。

→研究集会の対象を拡大したほか、住民参加型サービス実施団体や地域包括支援センターのスタッフ研修など、ボランティアコーディネーター以外の対象への研修依頼が増加した。

重点2 ボランティアコーディネーション力検定の拡大と、グッドプラクティス認定システムの展開

○ボランティアコーディネーション力検定を活用する組織を広げる。

→公共施設等の指定管理を受託した企業から社員を順に受験させるケースがあった。

○全国の幅広い地域、分野での検定開催を実現するために、ボランティアコーディネーション力検定3級の共催団体を確保する。

→共催検定については8か所を目標として働きかけを行ったが、開催を検討したものの感染拡大を危惧して見合わせる団体もあり、5か所での開催にとどまった。

○ボランティアコーディネーション実践のグッドプラクティスを収集し、認定するシステムを展開する。

→事例の公募に対しては3件の応募にとどまった。認定への審査のためのヒアリングについては年度を越えて継続中である。

推進体制 組織・財政基盤強化のためのインフラ整備

○財政基盤を強化するための新たな方策を検討する。

→20周年にあたり、事業発展と財源強化のための募金に200万円を目標に掲げて取り組み、145件、204万8千円の寄付が集まった。JAMMINとのコラボで行ったチャリティTシャツの販売も目標額を上回る実績をあげることができた。さらに、主催研修を強化したことで例年を超える参加費収入を確保した。

○エリアメイトに加え、会員の参加のバリエーションや機会を広げる。

→地域プロモーション委員会のメンバーがレポーターになりオンライン上で会員を訪問する「旅するJVCA」（15分程度の録画番組）を作成し、YouTubeのJVCA公式チャンネルで配信を開始した。会員の日頃の活動やコーディネーションで大事にしていることなどを語り合い、知り合う機会として今後も継続していく予定である。

○顧客・支援者データベースを活用してJVCAにコミットする人たちを増やす。

→会員や検定合格者などを一括管理することで、各種の事業を適宜Eメールで案内した。

1 事業の推進

(1) 多様なコーディネーション実践に携わる人たちを対象とする全国集会の実施

①「市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会 2021」の開催・評価

独立行政法人福祉医療機構からの助成金を得て、標記の集会を開催した。今回は多様な分野・領域のコーディネーターの参加を得るために、集会名を変更して、試行的に開催。また、新型コロナウイルス感染予防のためにオンライン形式で実施した。企画及び運営のために企画委員会を立ち上げ（企画委員長：早瀬昇氏）、オンラインにより企画委員会および作業委員会を開催して進めた。

テーマ：越境×対話×共創

期 日：2021 年 2 月 23 日（火・祝）～28 日（日）

参加者：200 人 ※申込者

登壇者（延べ）：56 人

企画委員：26 人

<実行委員会開催状況>

回	期 日	形 態	人数
第 7 回	3 月 15 日（月）	オンライン	24 人

②「市民の参加と協働をすすめる多様なコーディネーション実践研究集会 2022」の準備

研究集会 2021 の成果を検証し、「市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会 2022」（オンライン）の開催を企画し、実行委員会を結成した。

<実行委員会開催状況>

回	期 日	形 態	人数
準備会	5 月 21 日（金）	オンライン	—
説明会	6 月 22 日（火）	オンライン	22 人
第 1 回	7 月 17 日（土）	オンライン	19 人
第 2 回 A	8 月 4 日（水）	オンライン	15 人
第 2 回 B	8 月 6 日（金）	オンライン	10 人
事務局 TM	8 月 24 日（火）	オンライン	—
第 3 回	9 月 5 日（日）	オンライン	21 人
第 4 回	9 月 23 日（木・祝）	オンライン	26 人
第 5 回	10 月 3 日（日）	オンライン	27 人
事務局 MT	10 月 12 日（火）	オンライン	—
事務局 MT	10 月 22 日（金）	オンライン	—

事務局 MT	10月29日（金）	オンライン	—
第6回	11月3日（水・祝）	オンライン	27人
第7回	11月22日（月）	オンライン	26人
第8回	12月15日（水）	オンライン	23人

（２）研修の開催および研修企画の支援

①ボランティアコーディネーションカ1級検定直前研修の開催（計画 1回）

※（３）の項に記載

②ボランティアコーディネーションカ2級検定直前研修の開催（計画 2回）

※（３）の項に記載

③ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の開催（計画 4回）

※（３）の項に記載

④ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の共催（計画 8回）

※（３）の項に記載

⑤各種研修セミナーの開催

・実務経験者向け：ボランティアコーディネーター実務研修（計画 5回／実施 2回）

WITH コロナ時代のボランティアコーディネーション実務研修の開催

No	研修名	開催日	講師	人数
1	コロナ禍で進化する プログラム開発とリクルート ～新たな活動の領域を開拓する コーディネーションの実践とは (オンライン)	11月15日（月）	小原 宗一	6人
2	コロナ禍で実践したい ボランティアのリコグニション ～ボランティアのモチベーション 低下にどう向き合うか (オンライン)	12月 1日（水）	小原 宗一	14人

・初任者向け：ボランティアコーディネーター基礎研修の開催

（計画 2回：東京・大阪／実施 1回：オンライン）

No	研修名	開催日	講師	人数
1	新任ボランティアコーディネーター 基礎研修 (オンライン)	9月16日（木）	唐木理恵子 青山 織衣 新堀 春輔	59人

・初任者向けe 動画講義（富士通ラーニングメディアとの提携）の普及

出荷実績：ボランティアとコーディネート理解 31 件

ボランティア受け入れのマネジメント 29 件

・大学ボランティアセンター職員セミナー2021 の開催（新規）

No	研修名	開催日	講師・運営	人数
1	大学ボランティアセンター 職員セミナー2021 ～コロナ禍における学生の活動支援 基礎セミナー（オンライン）	9月9日（木）	筒井のり子 赤澤 清孝 竹田 純子 國實紗登美	40人
2	大学ボランティアセンター 職員セミナー2021 ～コロナ禍における学生の活動支援 実践セミナー（オンライン）	9月10日（金）	高橋あゆみ 拠点紹介協力（動画） 龍谷大学 同志社大学	46人

⑥オンライン対談シリーズ1「社協のこれからをマジで考えます。」の開催

回	期 日	形 態	話し手／聞き手 アシスタント	申込人数	参加人数
第1回	1月12日（火）	オンライン	猪俣 健一／石原 達也 青山 織衣・三田響子	45 人	37 人
第2回	1月13日（水）	オンライン	梅澤 稔／石原 達也 青山 織衣・三田響子	45 人	34 人
第3回	1月14日（木）	オンライン	小柴 徳明／石原 達也 青山 織衣・三田響子	51 人	38 人

⑦オンライン対談シリーズ2「ボランティアコーディネーター全員集合」の開催

No	研修名	開催日	講師	人数
1	紡ぐ参加の力 × 国際協力、企業・CSR の現場から ※20 周年コラボ企画 （オンライン）	8月18日（水）	坂口 和隆 山ノ川 実夏 MC：永井 美佳 佐藤 匠	28人
2	農山村と都市と人を結ぶいい関係とは （オンライン）	12月3日（金）	井口 育紀 鹿住 貴之 MC：佐藤 匠 國實紗登美	19人

⑧研修への講師派遣と講座等の企画支援

- ・研修への講師派遣を希望する団体に対し、開催の目的やねらい、テーマ等を調整したうえで、JVCA の理事・役員等を派遣した。

派遣 58 件 研修日数 72 日 / 派遣講師 16 人（実人数）

- ・全国の関係団体への講師派遣事業 PR チラシを送付した（検定パンフレットに同封）
- ・オンラインでの研修についての問い合わせに対応し、不慣れな団体に対してはオンラインサポーターを配置した（有料）。

(3) ボランティアコーディネーション力検定の実施

①ボランティアコーディネーション力1級検定試験の実施（計画 1回／研修1か所・試験2か所）

第1回（通算第9回）ボランティアコーディネーション力1級検定の直前研修および試験を
事前動画視聴とオンラインを組み合わせ実施した。

開催地・会場	期 日	講師・メンター、試験監督	受験者
直前研修：講義 （動画視聴）	7月30日（金）～ ※オンデマンド	筒井のり子、早瀬 昇	23人
直前研修：演習 （オンライン）	8月21日（土） 8月22日（日）	小原 宗一、岩井 俊宗、戸田千登美 疋田 恵子、上田 英司、後藤麻理子、 早瀬 昇、竹田 純子	22人
検定試験 （WEBフォーム）	9月12日（日）	岩井 俊宗、小原 宗一、疋田 恵子、 永井 美佳、垂井加寿恵、竹田 純子、 後藤麻理子	21人

<第1回（通算第9回） 1級検定 試験結果>

受験者数	21人	合格者数	9人	合格率	42.9%
------	-----	------	----	-----	-------

②ボランティアコーディネーション力2級検定試験の実施（計画 2回・2か所）

開催地・会場	期 日	講師・採点	受験者
<第1回> 通算22回 大阪会場： 大阪府社会福祉会館	講義動画視聴 10月8日（金）～	後藤麻理子 早瀬 昇 筒井のり子 新堀 春輔	19人
	直前研修 & 検定試験 10月24日（日）	筒井のり子 竹田 純子 新堀 春輔 栗木 梨衣	
<第2回> 通算23回 東京会場： 大学生協杉並会館	講義動画視聴 10月29日（金）～	大阪と同じ	22人
	直前研修 & 検定試験 11月14日（日）	後藤麻理子 疋田 恵子 栗木 梨衣 鹿住 貴之	

<第1・2回 2級検定 試験結果>

	大阪	東京	合計
受験者数	19人	22人	41人
合格者数	16人	17人	33人
合格率	84.2%	77.3%	80.5%

③-1【主催】3級検定試験の実施（計画 2回・2か所）

第1回（通算30回）：

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
第1回 東京 飯田橋セントラルプラザ	6月26日（土）	佐藤 匠／後藤麻理子	33人

<第1回 実施結果>

受験者数	33人
合格者数	31人
合格率	93.9%

大阪会場は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により医療体制が逼迫した状態が続いていたため中止した。このような厳しい事態を受けて、第2回の主催検定開催に向けての緊急対応として、①従来通りの対面式の研修を受講して受験、②直前研修は2週間前に配信される講義動画（講師：序章 後藤麻理子／第1章 早瀬昇／第2章 筒井のり子）を事前視聴し、試験のみ会場で受験、の2つの選択肢をつくり、受験者がいずれかを選択できる方式に変更した。また、移動距離を短くするために、試験委員や理事・運営委員の協力を得て、急遽、岐阜と北九州に会場を増設し、試験（上記の②の方式）を実施した。

第2回（通算31回）

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
東京第 1 会場：飯田橋セントラルプラザ ＜協力：東京ボランティア・市民活動センター＞	12 月 5 日 （日）	鹿住 貴之 矢島 万理	44 人
東京第 2 会場：東京ボランティア・市民活動センター ＜協力：東京ボランティア・市民活動センター＞		検定試験のみ	30 人
大阪会場 ：大阪府社会福祉会館 ＜研修共催：大阪ボランティア協会＞		永井 美佳 青山 織衣	35 人
		検定試験のみ	19 人
岐阜会場：ハートフルスクエア G		検定試験のみ	14 人
北九州会場：ウェルとばた		検定試験のみ	25 人

<第2回 実施結果>

	東京1	東京2	大阪	岐阜	北九州	合計
受験者数	44人	30人	54人	14人	25人	167人
合格者数	40人	29人	53人	12人	21人	155人
合格率	90.9%	96.7%	98.1%	85.7%	84.0%	92.8%

③-2 【共催】 3級検定試験の実施（計画 8か所）

＜共催検定＞（実施 4回・5か所）

共催団体	期 日	講師・方式
①東北公益文科大学	9月11日（土）	会場に集合し、講義動画を視聴
②東京都社会福祉協議会 東京ボランティア・市民活動センター	10月23日（土）	三田 響子 唐木理恵子
③長野県社会福祉協議会	12月3日（金）	事前に講義動画を視聴（オンデマンド）
④東京都立大学	12月18日（土）	三田 響子 後藤麻理子
⑤龍谷大学		筒井のり子

試験結果	①	②	③	④	⑤	合計
受験者数	29人	31人	29人	25人	30人	144人
合格者数	20人	30人	27人	22人	28人	127人
合格率	69.0%	96.8%	93.1%	88.0%	93.3%	88.2%

④ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の運営

ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 ◎委員長 ○副委員長 ☆各級チームリーダー

No	委員名	所属	担当
◎ 1	妻鹿ふみ子	東海大学	総括
☆ 2	小原 宗一	北区社会福祉協議会	1級
3	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会	1級
4	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク	1級
5	上田 英司	日本 NPO センター	1級
6	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	1級
○☆ 7	栗木 梨衣		2級
8	公文真理亜	北九州市社会福祉協議会	2級
9	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO 活動センター	2級
10	垂井加寿恵	神戸学院大学 ボランティア活動支援室	2級
11	赤澤 清孝	ユースビジョン	2級
12	新堀 春輔	京都市環境保全活動推進協会	2級
☆ 13	足立 陽子	東京都人権啓発センター	3級
14	唐木理恵子	日本ボランティアコーディネーター協会	3級
15	土崎 雄祐	とちぎ市民協働研究会	3級
16	鹿住 貴之	JUON（樹恩）NETWORK	3級
17	佐藤 匠	至学館大学	3級

各級（１級・２級・３級）ごとのチームミーティングの開催

< １級検定チーム >

回	期 日	形 態	参加人数
第 1 回	8 月 22 日（日）	オンライン	5 人
第 2 回	9 月 25 日（土）	オンライン	5 人

< ２級検定チーム >

回	期 日	形 態	参加人数
第 1 回	5 月 13 日（木）	オンライン	6 人
第 2 回	7 月 24 日（土）	オンライン	5 人
第 3 回	7 月 31 日（土）	オンライン	5 人
第 4 回	8 月 7 日（土）	オンライン	6 人
第 5 回	8 月 14 日（土）	オンライン	6 人
第 6 回	9 月 19 日（日）	オンライン	6 人
第 7 回	10 月 1 日（金）	オンライン	6 人
第 8 回	10 月 11 日（月）	オンライン	6 人

< ３級検定チーム >

回	期 日	形 態	参加人数
第 1 回	5 月 8 日（土）	オンライン	5 人
第 2 回	6 月 17 日（木）	オンライン	5 人
採点	9 月 22 日（水）	JVCA 事務所	2 人
第 3 回	10 月 2 日（土）	オンライン	5 人
第 4 回	11 月 3 日（水・祝）	JVCA 事務所	5 人
採点	12 月 10 日（金）	JVCA 事務所	2 人
採点	12 月 22 日（水）	JVCA 事務所	1 人

⑤ボランティアコーディネーション力検定研修委員会の運営

No	委員名	所 属
1	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク
2	小原 宗一	北区社会福祉協議会
3	栗木 梨衣	
4	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会
5	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター
6	筒井のり子	龍谷大学
7	早瀬 昇	大阪ボランティア協会
8	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会

・検定研修委員会の開催

回	期 日	形態	参加人数
第 1 回	1月 6日 (水)	オンライン	7人
第 2 回	1月 7日 (木)	オンライン	8人
第 3 回	3月 9日 (火)	オンライン	6人
第 4 回	3月 28日 (日)	オンライン	7人
第 5 回	4月 29日 (木・祝)	オンライン	7人
第 6 回	5月 30日 (日)	オンライン	6人
第 7 回 (拡大)	7月 8日 (木)	オンライン	8人
第 8 回	8月 8日 (日)	オンライン	7人
第 9 回	9月 4日 (土)	オンライン	8人

⑥検定合格者（3級・2級）に対する上級検定情報の提供

Eメールにより受験できる級の検定情報を周知した。

（４）情報の収集及び提供活動の推進

①メールマガジンの発行（月１回程度） →第 181 号～第 188 号発信

②ＪＶＣＡ公式 Facebook の運営 →随時発信

③ＪＶＣＡ紹介チラシの作成 →オンライン研修用にデータで対応

④ＷＥＢサイトの情報更新 →随時更新

⑤ボランティアコーディネーションに関する図書・文献情報の収集

⑥雑誌・新聞、出版物などへの寄稿 など

『ボランティア情報』（全国社会福祉協議会発行）１～３月号

連載「コーディネートのチカラ ワザを磨く！」（第 10 回～第 12 回）

⑦ボランティアおよびボランティアコーディネーションについての普及啓発

・ボランティアコーディネーションに関する情報、JVCA の事業全般を広くアピールした。

・『ボランティアコーディネーター基本指針』ブックレット、『グッドプラクティス事例集』等の販売促進を行った。

・「ご存知ですか？ボランティアコーディネーター」ポスターの配付

ボランティアコーディネーターの社会的な認知を高めるためのポスターを入会時に配布し、活用を呼びかけた。

・社会的な動向やトピックスに関する情報収集と必要な発信をする。（アドボカシー）

→ボランティア報道ガイドラインチームを結成し、報道等で使ってほしくない言葉や表現などについて検討を行った。

(5) 広報紙および出版物の発行

- ①ニュースレター『Co★Co★Net』の発行 年3回（発行月：4月、8月、12月）
- 第62号 特集：多様なコーディネーション実践研究集会報告
4月28日発行 500部
- 第63号 特集：ボランティアグループ支援の基礎知識
8月31日発行 500部
- 第64号 特集：オンライン講座や会議でのヒヤットとするシーン
12月20日発行 500部
- ②ボランティアコーディネーションカ1級検定テキストの発行
一部改訂を加えて印刷 50部
- ③ボランティアコーディネーションカ2級検定サブテキストの発行
改訂を加えて印刷 75部
- ④『グッドプラクティス事例集 VOL.4 キラリ★と光るコーディネーション』の編集・発行
4月25日 A5判 68頁 550円（消費税込み） 300部

(6) 調査・研究事業の実施

- ①「グッドプラクティス認定システム化委員会」の運営および実践事例の募集

回	日 程	形 態	人数
第1回	1月28日（木）	オンライン	5人
第2回	9月25日（土）	オンライン	5人
第3回	11月18日（木）	オンライン	5人

ボランティアコーディネーションの場面での創意工夫や成果を評価する「グッドプラクティス」の事例を募集した。

- ・公募期間：2021年9月27日（月）～10月31日（日）
- ・応募総数：3件（グッドプラクティス認定部門1件／キラリと光るアイデア部門2件）

- ・「グッドプラクティス認定システム化委員会」の設置

No	委員名	所 属
1	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク
2	上田 英司	日本 NPO センター
3	小原 宗一	北区社会福祉協議会
4	妻鹿ふみ子	東海大学
5	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

②『ボランティア報道・表現のガイドライン』づくり

(早瀬 昇、橋詰勝代、竹脇恵美、清水由子、高橋義博、疋田恵子、熊澤利和、池田幸也)

回	日 程	会 場
第 1 回	5 月 8 日 (土)	オンライン
第 2 回	6 月 5 日 (土)	オンライン
第 3 回	7 月 10 日 (土)	オンライン
第 4 回	11 月 19 日 (金)	オンライン
第 5 回	11 月 27 日 (土)	オンライン
第 6 回	12 月 4 日 (土)	オンライン
第 7 回	12 月 11 日 (土)	オンライン

③コロナ禍における新しいボランティア・市民活動プログラムの開発

3 月 19 日にココサロンを開催し現場の情報収集と意見交換を実施。これをもとに研修を組み立て 7 月 30 日に実務研修〈テーマ別〉「今さら聞けないボランティアグループ支援の基礎知識～ボランティアの高齢化からコロナ禍での支援まで～」を開催した。

(7) ボランティアコーディネーターの交流の促進

①C o C o サロンの開催・運営支援

・C o C o サロンの開催状況

No	開催日	サロン名	会場	人数	テーマ
1	1 月 27 日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	7 人	参加者の近況を報告し合い、コロナ禍での課題や活動の工夫についても共有した。次回のサロンについても情報提供。
2	3 月 6 日 (土)	CoCo サロン 関西・北陸エリア	オンライン	11 人	「多様なコーディネーション実践研究集会」を受け、参加しての感想と今後について語りながら交流を深めた。
3	3 月 19 日 (金)	CoCo サロン コロナ禍のボランティア・コーディネーション	オンライン	17 人	コロナ禍のボランティアコーディネーションについて、それぞれの実践の場での会員の取組みや工夫等情報交換の機会にした。
4	3 月 27 日 (土)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	ハイブリッド	23 人	“いのち”まもり、ささえる。いま、わたしにできること。と題して、話題提供者を招いて、いつもより少し長めの時間で開催した。
5	5 月 26 日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	7 人	参加者の情報交換を中心に、ボランティアやコーディネーションの現状と課題を出し合った。

6	6月1日 (火)	CoCo サロン 庄内	楽家 & オン ライン	5 人	対話の手法を学ぶその1「言葉を見える化する手法」として、ファシリテーションリテーションの中の対話を見える化する手法を学びました。
7	7月28日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	6 人	近況報告をしながら自己紹介。「ボランティアコーディネーションカ 3 級検定」が話題となり、経験談も共有した。
8	8月30日 (月)	CoCo サロン 庄内	オンライン	3 人	with コロナ時代の地域について、コーディネーションの視点から私たちにできる新しいつながり方について考えた。
9	9月4日 (土)	CoCo サロン 関西・北陸エリア	オンライン	11 人	JVCA20 周年記念フォーラムを受け、コーディネーションの 20 年をどう感じたのか、これからどうしていきたいか語りながら交流を深めた。
10	9月29日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	6 人	近況報告をしながら、コロナ禍による活動自粛・拒否から考える人権感覚について意見交換を行った。
11	11月24日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	6 人	子ども食堂や生活困窮者支援の関わる実情や問題意識を出し合った。検定や研究集会の情報も共有した。
12	12月9日 (木)	CoCo サロン東北	オンライン	9 人	自己紹介をしたうえで、長くコロナ禍が続くなかでどのように動いていたかについての情報交換を行った。

②エリアアクションの開催～身近な地域での会員のつながりづくり

会員が登場する「旅する JVCA」と題した動画を作成し、YouTube の JVCA 公式チャンネルで配信した。第 1 回はトライアル版として、運営委員の協力を得て実施。広報紙 Co★Co★Net では、ゲストはもちろんのこと動画のレポーターや編集などにも会員の参加を呼びかけた。

③関係団体との連携

- ・市民活動やボランティアコーディネーションの普及促進、社会課題の解決につながる関係団体の事業を後援し、連携を深めた。

第 56 回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第 20 回日本精神保健福祉士学会学術集会の後援

- ・「広がれボランティアの輪」連絡会議に幹事団体として参加し、ボランティア全国フォーラムなどの企画・運営に参加した。

④会員メーリングリストによる会員相互の相談・助言の促進

会員メーリングリストにより会員間のコミュニケーションを促進した 134 件

⑤会員限定 Facebook グループ「集まれ！ボランティアコーディネーター」の活用

コーディネーター同士の気軽に自由な情報交換の場として WEB 委員会が管理者となって運営

を行った。

⑥コロナ禍のボランティア・市民活動およびコーディネーションについての情報交換会の開催

コロナ禍でのボランティア活動の状況や、ボランティアコーディネーションの悩みや課題を気軽に語るオンライン CoCo サロンを開催した。

2 組織運営と財政

(1) 通常総会

日 時 2021年2月28日(日) 15時30分～17時30分
 会 場 各自拠点からオンラインで接続する会議として開催
 正会員数 317人
 定 足 数 159人
 出席者数 216人(オンライン54人、意思表示108人、委任54人)
 審議事項 第1号議案 2020年度事業報告ならびに決算について
 第2号議案 定款の変更について
 第3号議案 2021年度事業計画ならびに予算案について

(2) 理事会

第11期 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事名簿

(2020年4月1日～2022年3月31日)

◎代表理事 ○副代表理事

No.	氏 名	所 属 先	地 域
1	青山 織衣 ○	一般社団法人岸和田シティプロモーション推進協議会	大阪府
2	石原 達也	特定非営利活動法人岡山 NPO センター	岡山県
3	上田 英司	認定特定非営利活動法人日本 NPO センター	東京都
4	小原 宗一	社会福祉法人北区社会福祉協議会	東京都
5	鹿住 貴之 ○	認定特定非営利活動法人 JUON (樹恩) NETWORK	東京都
6	菊池 哲佳	公益財団法人仙台観光国際協会	宮城県
7	筒井 のり子	龍谷大学	滋賀県
8	遠山 昌子	一般社団法人生き方のデザイン研究所	福岡県
9	戸田 千登美	公益財団法人長野県長寿社会開発センター	長野県
10	永井 美佳	社会福祉法人大阪ボランティア協会	大阪府
11	長谷部 治	社会福祉法人神戸市兵庫区社会福祉協議会	兵庫県
12	疋田 恵子	社会福祉法人杉並区社会福祉協議会	東京都
13	妻鹿 ふみ子 ◎	東海大学	神奈川県
14	矢島 万理	公益社団法人国土緑化推進機構	東京都

- ・理事会の開催 計画：4回（上半期1月、4月 下半期7月、12月）

回	日 程	会 場	出席	審議事項
第74回	2月6日 (土)	オンライン	13人	第1号議案 2020年度事業報告および決算案について／第2号議案 2021年度予算案について／第3号議案 定款の変更について／第4号議案 2021年度運営委員選考委員の選任について
第75回	4月3日 (土)	オンライン	14人	第1号議案 20周年記念の取り組みについて／第2号議案規則の改正について／第3号議案 2021年度事業の進め方について
第76回	7月18日 (日)	オンライン	14人	第1号議案 2021年度上半期執行状況（事業計画・予算）について／第2号議案 創立20周年記念の取り組みについて／第3号議案 3級検定の開催形態の変更について／第4号議案 組織のあり方検討の進め方について
第77回	12月26日 (日)	オンライン	14人	第1号議案 2022年度 事業計画および暫定予算案について／第2号議案 2022年 検定試験委員の選任について／第3号議案 役員候補者選挙および選出規程の改定について

(3) 委員会

2021年度運営委員体制（2021.4-2022.3）

◎委員長 ○副委員長

NO	氏 名	地域	所 属
1	小野寺 崇	宮城	仙台市社会福祉協議会
2	栗原 穂子	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす
3	土崎 雄祐	栃木	一般社団法人とちぎ市民協働研究会
4	熊澤 利和	群馬	高崎経済大学
5	宮城 智広	埼玉	鶴ヶ島市社会福祉協議会
6	相澤 満	東京	社会福祉法人武蔵野会 リンクス們田
7	榎本 朝美	東京	東京ボランティア・市民活動センター
8	鹿住 貴之	東京	認定特定非営利活動法人JUON（樹恩）NETWORK
9	唐木理恵子	東京	紬ワークス
10	熊谷 紀良 ○	東京	東京ボランティア・市民活動センター
11	後藤麻理子	東京	特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会
12	高橋 義博	東京	府中市市民活動センターブラッツ
13	直井 友樹	東京	
14	疋田 恵子	東京	杉並区社会福祉協議会
15	武藤 祐子	東京	千代田区社会福祉協議会

16	三田 響子	神奈川	相模原市社会福祉協議会
17	小柏 博英	福井	福井市社会福祉協議会
18	竹脇 恵美	長野	公益財団法人長野県長寿社会開発センター木曽支部
19	佐藤 匠 ◎	愛知	至学館大学
20	清水 由子	岐阜	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団
21	國實 紗登美	滋賀	龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
22	筒井 のり子	滋賀	龍谷大学
23	橋詰 勝代	滋賀	高島市社会福祉協議会
24	高橋 あゆみ	京都	同志社大学
25	早瀬 昇	大阪	社会福祉法人大阪ボランティア協会
26	椋木 美緒 ○	大阪	社会福祉法人大阪ボランティア協会
27	杉浦 健	兵庫	共働プラットフォーム
28	橋口 文博	兵庫	特定非営利活動法人じゅうしん神戸
29	大藤 毅	愛媛	国立大洲青少年交流の家

①運営委員会（月1回）の開催 計画 12 回

回	日 程	会 場	参加者
第 1 回	1 月 23 日（土）	オンライン	23 人
第 2 回	2 月 7 日（日）	オンライン	19 人
第 3 回	3 月 14 日（日）	オンライン	24 人
第 4 回	4 月 25 日（日）	オンライン	28 人
第 5 回	5 月 9 日（日）	オンライン	29 人
第 6 回	6 月 6 日（日）	オンライン	26 人
第 7 回	7 月 11 日（日）	オンライン	24 人
第 8 回	8 月 8 日（日）	オンライン	28 人
第 9 回	9 月 4 日（土）	オンライン	24 人
第 10 回	10 月 9 日（土）	オンライン	22 人
第 11 回	11 月 20 日（土）	オンライン／飯田橋セントラルプラザ／ 龍谷大学梅田キャンパス	18 人
第 12 回	12 月 19 日（日）	オンライン	25 人

①－ 2 運営委員選考委員会

日時 2021 年 3 月 12 日（金） @JVCA 事務所

出席 理事 上田英司、運営委員長 佐藤匠、事務局長 後藤麻理子

②各種委員会の運営

各種事業の進行管理を徹底し、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、一般会員の参加で以下の委員会を推進した。

i) 研修開発委員会…実務者向け研修の進行管理、研修のプログラム開発と試行

(小原宗一、筒井のり子、後藤麻理子、竹脇恵美、大藤毅)

回	日 程	形 態・会 場
第 1 回	3 月 29 日 (月)	オンライン
第 2 回	9 月 17 日 (金)	オンライン

ii) 研究集会企画委員会 …市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会

2022 の企画・運営協力、今後の方向性、開催のあり方検討

(杉浦健、土崎雄祐、唐木理恵子、椋木美緒、橋詰勝代)

※拡大メンバー (早瀬昇、鹿住貴之、上田英司、西川正、後藤麻理子)

回	日 程	形 態・会 場
第 1 回 (拡大) ※再掲	5 月 21 日 (金)	オンライン
第 2 回	12 月 17 日 (金)	オンライン

iii) 財政委員会…財政シミュレーションと具体的な財源強化対策、活動予算の作成

(早瀬昇、鹿住貴之、阿部陽一郎、土崎雄祐、熊谷紀良、熊澤利和、三田響子)

回	日 程	形 態・会 場
第 1 回	1 月 31 日 (日)	オンライン
第 2 回	9 月 3 日 (金)	オンライン
第 3 回	12 月 4 日 (土)	オンライン

iv) WEB 委員会 …JVCA 公式 Facebook の運営、WEB サイトのメンテナンス

(橋口文博、高橋義博、佐藤匠、宮城智広、相澤満)

回	日 程	形 態・会 場
第 1 回	2 月 6 日 (土)	オンライン
第 2 回	3 月 25 日 (木)	オンライン
第 3 回	4 月 20 日 (火)	オンライン
第 4 回	5 月 7 日 (金)	オンライン
第 5 回	6 月 1 日 (火)	オンライン

v) 地域プロモーション委員会…ココサロンの呼びかけ、運営支援。エリアメイトと協働しての

エリアアクションの開催、など

(疋田恵子、熊谷紀良、栗原穂子、竹脇恵美、武藤祐子、佐藤匠、直井友樹、高橋あゆみ、相澤満、橋詰勝代、小野寺崇、小柏博英、青山織衣、椎名保友)

回	日 程	形 態・会 場
第 1 回	1 月 23 日 (土)	オンライン
第 2 回	2 月 7 日 (日)	オンライン
第 3 回	5 月 9 日 (日)	オンライン
第 4 回	6 月 6 日 (日)	オンライン
第 5 回	8 月 6 日 (金)	オンライン

③専門委員会の設置、運営

- i) ボランティアコーディネーション力検定試験委員会（継続）
- ii) ボランティアコーディネーション力検定研修委員会（継続）
- iii) グッドプラクティス認定システム化委員会（継続）

④プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、必要に応じて各種チームを構成し、事業の進行を図った。

- i) 検定プロモーションプロジェクトチーム（継続）
（早瀬昇、鹿住貴之、清水由子、國實紗登美、榎本朝美）

回	日 程	形 態・会 場
第 1 回	5 月 1 日（土）	オンライン
第 2 回	8 月 11 日（水）	オンライン

検定を PR するためのプロモーションビデオを作成し、YouTube の JVCA 公式チャンネルで配信した。

- ii) 組織のあり方検討タスクチーム

（妻鹿ふみ子、鹿住貴之、青山織衣、佐藤匠、早瀬昇、疋田恵子、第 3 回～後藤麻理子、第 8 回～熊谷紀良、直井友樹）

高年齢者雇用安定改正法の趣旨に鑑み、職員の定年後の継続雇用制度について協議し、就業規則の改定案を作成し、理事会に提案した。下半期には「持続可能な組織運営体制のあり方」を検討するため、将来を見据えた組織・運営体制について継続的に協議した。

回	日 程	形 態・会 場
第 1 回	3 月 3 日（土）	オンライン
第 2 回	3 月 28 日（日）	オンライン
第 3 回	4 月 29 日（木・祝）	オンライン
第 4 回	5 月 27 日（木）	オンライン
第 6 回	8 月 25 日（水）	オンライン
第 7 回	9 月 27 日（月）	オンライン
第 8 回（拡大ワークショップ）	10 月 30 日（土）	飯田橋セントラルプラザ
第 9 回	11 月 15 日（月）	オンライン
第 10 回	12 月 16 日（木）	オンライン

9 月 16 日（木）には、JVCA の組織運営の歴史と特徴を共有するために、組織のあり方検討のための理事・運営委員合同会議「これまでの JVCA 組織・運営体制について話を聴く会」（オンライン）を開催した。

iii) 大学ボランティアセンター職員セミナー企画チーム

(筒井のり子、竹田純子、國實紗登美、高橋あゆみ、赤澤清孝)

回	日 程	形 態・会 場
第 1 回	4 月 15 日 (木)	オンライン
第 2 回	4 月 17 日 (土)	オンライン
第 3 回	5 月 29 日 (土)	オンライン
第 4 回	7 月 3 日 (土)	オンライン
第 5 回	8 月 31 日 (火)	オンライン
第 6 回	9 月 25 日 (土)	オンライン

iv) ボランティアコーディネーター全員集合「ここだけの話」します企画チーム

(永井美佳、青山織衣、佐藤匠、國實紗登美)

回	日 程	形 態・会 場
第 1 回	6 月 21 日 (月)	オンライン
第 2 回	6 月 28 日 (月)	オンライン
第 3 回	7 月 28 日 (水)	オンライン
第 4 回	9 月 7 日 (火)	オンライン
第 5 回	12 月 28 日 (火)	オンライン

v) 会員サロン (20 周年コラボ) 企画チーム

(小原宗一、疋田恵子、遠山昌子)

回	日 程	形 態・会 場
第 1 回	6 月 29 日 (火)	オンライン

(4) 監事監査の実施

2020 年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日 時 2021 年 2 月 3 日 (水) 17:00~19:00 場 所 JVCA 事務所

出 席 池田幸也監事、内野恵美監事

(5) 会員拡大および会員サービスの充実

①「顧客・支援者データベース」の活用

各種事業についての案内を該当する顧客を検索し、適宜 E メールにより周知した。

②会員拡大に関する取り組み

- ・ ボランティアコーディネーション力検定
合格者に対し、入会の案内を行った。
- ・ 入会のインセンティブとしての割引等を、
研究集会や検定、研修申込の際に案内した。

年度末の会員数は右表のとおり→

会員種別	人数
正会員	338 人
準会員	20 人
賛助会員 (個人)	90 人
賛助会員 (団体)	8 団体

③会費納入率の向上

会員の継続および会費納入について総会案内および広報紙発送の際に依頼文書を同封した。
12月には運営委員が手分けをして各自面識のある未納の会員への継続依頼を行った。

（６）運営および事務局体制の充実

①事務局職員の採用

4月1日より非常勤職員として足立若葉を採用した（週3日）

（７）財源の確保

①会費収入の拡大

研究集会や研修などの場でJVCAの説明をし、入会の案内をした。

②事業収益の拡大

6月の大阪主催検定中止や講師派遣事業の依頼取り消しなど、財政的に厳しい状況があり、下半期にリカバリーのための各種事業に取り組んだ。

③寄付者の拡大

20周年記念募金を実施し、目標額を達成した。 145件 2,048,000円

④助成金、委託事業などの活用

独立行政法人福祉医療機構（WAM）の社会福祉振興事業助成金を申請し、採択された。
事業は「市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会2022」である。

⑤「おサイフ通信」の発行

第14号の発行（2021年12月13日刊）

⑥新型コロナウイルスの影響による経営難を支援する制度の活用

東京都家賃給付金を受給した。

（８）設立20周年事業の開催

2021年1月（法人化8月）に設立20周年を迎えたことに伴い、記念の取り組みを実施する。
そのためのタスクチームを設置して事業を実施した。

＜20周年記念ロゴマークの作成＞

（デザイン 杉浦 健）



i) 記念フォーラム企画チーム：記念企画を設計、運営

(佐藤匠、竹脇恵美、棕木美緒、橋詰勝代、高橋義博、武藤祐子、菊池哲佳、青山織衣)

回	日 程	形 態・会 場
第1回	5月 1日 (土)	オンライン
第2回	5月20日 (木)	オンライン
第3回	5月30日 (日)	オンライン
第4回	6月 3日 (木)	オンライン
第5回	6月12日 (土)	オンライン
第6回	6月23日 (水)	オンライン
第7回	7月 2日 (金)	オンライン
第8回	7月23日 (金・祝)	オンライン
第9回	7月27日 (火)	オンライン
第10回	8月19日 (木)	オンライン

<記念フォーラムの開催>

名称・テーマ	開催日	登壇者	人数
「JVCA 二十歳（はたち）の 記念フォーラム」 (オンライン)	8月28日 (土)	<ビデオメッセージ> 山崎美貴子／下澤 嶽／ 長澤恵美子／鶴尾 雅隆 ／斉藤 悦子 <20年の振り返り> 筒井のり子 <鼎談> 村井琢哉／栗木梨衣／ 西川正	97人

ii) 記念誌編集チーム：20年史の企画・編集

(筒井のり子、早瀬昇、橋口文博、竹脇恵美、土崎雄祐、小柏博英、後藤麻理子)

回	日 程	形 態・会 場
第1回	5月 9日 (日)	オンライン
第2回	5月23日 (日)	オンライン
第3回	10月9日 (土)	オンライン
第4回	11月9日 (火)	オンライン

<20周年記念誌の発刊>

『参加のチカラで創る市民社会～日本ボランティアコーディネーター協会^{はたち}二十歳の歩み』

印刷部数 600部

iii) グッズ製作チーム

(疋田恵子、熊谷紀良、清水由子、國實紗登美、栗原穂子、宮城智広、小野寺崇、三田響子、
高橋あゆみ、杉浦健)

回	日 程	形 態・会 場
第 1 回	5月6日 (木)	オンライン
第 2 回	6月3日 (木)	オンライン
第 3 回	7月11日 (日)	オンライン
第 4 回	8月11日 (水)	オンライン

<20周年記念グッズの作成・販売>

- ・クリアファイル3種 (基本指針・ボランティアコーディネーター8つの役割・記念ロゴマーク)
- ・眼鏡ふき
- ・缶バッジ
- ・記念ロゴマークステッカー ※会員に無料配布

iv) JVCA&JAMMIN のコラボ企画★チャリティ Tシャツの販売 (8/2~8/8 期間限定)

JAMMIN は毎週「1 週間限定」で NPO とコラボして、オリジナルデザインを発表し、NPO の活動紹介と、売り上げの一部をコラボ先の NPO に寄付してくれる団体。20 周年の節目ということで JVCA とのタイアップが実現し、目標額を大きく上回る成果があった。

寄附金目標額：150,000 円 寄付総額：230,180 円

v) ファンドレイジングチーム：記念募金など

20 周年記念ファンドレイジングチーム ※財政委員+希望者

(早瀬昇、鹿住貴之、阿部陽一郎、土崎雄祐、熊谷紀良、熊澤利和、三田響子、佐藤匠、橋詰勝代、相澤満)

回	日 程	形 態・会 場
第 1 回	5月 8日 (土)	オンライン
第 2 回	6月 5日 (土)	オンライン
第 3 回	7月10日 (土)	オンライン
第 4 回	7月17日 (土)	オンライン
第 5 回	8月 7日 (土)	オンライン

<記念募金の実施>

8月より20周年を記念した募金に取り組み、目標額を達成した。

目標額 2,000,000 円 寄付総額 2,048,000 円 (145 件) ※再掲

■2021年度 講師派遣事業

A:対面研修 B:オンライン C:録画提供(オンデマンド)

	期 日	曜日	A	B	C	研修名	主催団体	派遣講師
1	1月7日・2月1日・3月4日・3月8日	木・月		●		生活支援コーディネーター課題別研修	埼玉県社会福祉協議会	加留部 貴行
2	1月15日・2月22日	金・月		●		ボランティアコーディネーション研修	三重県社会福祉協議会	加留部 貴行
3	1月16日・3月20日	土	●	●		ボランティア講座	豊橋市民センター(愛知県)	後藤 麻理子
4	1月19日	火		●		知りたい!はじめて!聞いてみたい!ボランティア講座	焼津市社会福祉協議会(静岡県)	青山 織衣
5	1月20日	水		●		市町村ボランティアコーディネーター研修会	静岡県社会福祉協議会	後藤 麻理子
6	2月6日	土		●		東三河ボランティア集会	東三河ボランティア集実行委員会(愛知県)	青山 織衣
7	2月12日	金		●		ささえあい勉強会	とくしま住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会	後藤 麻理子
8	2月18日	木		●		ボランティア活動等実践交流会	神奈川県社会福祉協議会	妻鹿 ふみ子
9	2月18日	木		●		ボランティア受入れスキルアップ事業	福井市総合ボランティアセンター	後藤 麻理子
10	2月19日	金	●		●	ボランティア交流会	中央区社会福祉協議会(東京都)	後藤 麻理子
11	2月22日	月	●			ボランティアコーディネーター研修会	高槻市社会福祉協議会(大阪府)	筒井 のり子
12	3月6日	土		●		協働のまちづくりフォーラム	安曇野市(長野県)	早瀬 昇 土崎 雄祐(S)
13	3月6日	土		●		生活支援団体ネットワーク研修会	町田市社会福祉協議会(東京都)	正田 恵子
14	3月6日	土	●	●		新任職員研修	社会福祉法人ナオミの会(東京都)	後藤 麻理子
15	3月9日	火		●		地域づくりボランティア講座	長野市社会福祉協議会	唐木 理恵子
16	3月10日	水		●		施設ボランティア受け入れ担当者情報交換会	多摩ボランティア・市民活動支援センター(東京都)	後藤 麻理子
17	3月13日	土	●	●		ボランティア連絡会学習会	鶴岡市ボランティア連絡会(山形県)	後藤 麻理子
18	3月21日	日		●	(●)	ボランティア研修	品川区 オリンピック・パラリンピック準備課(東京都)	正田 恵子
19	3月27日	土	●	●		ボランティア講座	足立区社会福祉協議会(東京都)	後藤 麻理子
20	4月19日	月		●		施設ボランティアコーディネーター連絡会	港区社会福祉協議会(東京都)	唐木 理恵子
21	4月23日	金		●		区市町村ボランティア・市民活動センター新任研修	東京都社会福祉協議会	唐木 理恵子
22	5月14日	金		●		ボランティアコーディネーター研修2021	高知県社会福祉協議会	鹿住 貴之
23	5月28日	金				中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾企画・評価委員会	東京都社会福祉協議会	唐木 理恵子
24	6月17日	木		●		子ども子育て支援者研修	いしのまき子どもセンターコンソーシアム(宮城県)	上田 英司
25	6月18日	金	●			ボランティアコーディネーター研修会	大分県社会福祉協議会	小原 宗一
26	6月22日	火		●		地域づくりボランティア講座	長野市社会福祉協議会	筒井 のり子
27	6月25日・7月2日・16日・8月27日・9月10日	金	●			日本語講座の開設・運営改善等に係る支援	かながわ国際交流財団	妻鹿 ふみ子
28	7月1日～8月31日				●	ボランティアコーディネーター資質向上研修会	福井県社会福祉協議会	妻鹿 ふみ子
29	7月3日	土	●	●		新任職員研修(振り返り)	社会福祉法人ナオミの会(東京都)	後藤 麻理子
30	7月3日	土		●		役員研修	日本青年遺骨収集団(JYMA)(東京都)	岩井 俊宗
31	7月4日	日		●		区民活動団体レベルアップ講座	大田区区民活動支援施設大森(東京都)	唐木 理恵子
32	7月8日	木		●		ボランティア講座(初級編)	生活協同組合バルシステム東京	後藤 麻理子
33	7月5日～30日				●	社会福祉施設ボランティア担当者研修(基礎編)	福島県社会福祉協議会	後藤 麻理子
34	7月15日	木		●		ボランティア入門	日本女子大学(東京都)	杉浦 健
35	8月24日	火		●		岐阜県ボランティア・市民活動Webセミナー	岐阜県社会福祉協議会	筒井 のり子
36	8月29日	日		●		釧路地区ボランティア研修会	北海道社会福祉協議会釧路地区事務所	早瀬 昇
37	8月31日	火		●		社会福祉施設ボランティア担当者研修(応用編)	福島県社会福祉協議会	後藤 麻理子
38	9月15日・22日・29日	水		●		ボランティア論(ボランティアコーディネーション)	学習院大学(東京都)	後藤 麻理子
39	9月27日	月	●			ボランティア講座(初級編)	生活協同組合バルシステム東京	後藤 麻理子
40	10月8日	金	●			ボランティアコーディネート研修会	静岡県ボランティア協会	後藤 麻理子
41	10月18日	月	●			ボランティア連絡協議会30周年記念講演	厚木市ボランティア連絡協議会(神奈川県)	小原 宗一
42	10月19日	火	●			キラリ☆と光るボランティアコーディネーター養成講座	中野区社会福祉協議会(東京都)	妻鹿 ふみ子
43	10月27日	水		●		ボランティアコーディネーター等研修	富山県社会福祉協議会	唐木 理恵子
44	10月27日・28日	水・木		●		福祉職員キャリアパス対応生涯研修(初任者)	東京都福祉人材センター	後藤 麻理子
45	10月30日	土	●			オレンジフェスタプレミアム	豊橋市民センター(愛知県)	唐木 理恵子
46	10月31日	日		●		ボランティア全国フォーラム	「広がれボランティアの輪」連絡会議(東京都)	鹿住 貴之 後藤 麻理子
47	11月10日	水		●		福祉施設ボランティア活動推進研修会	熊本県社会福祉協議会	小原 宗一
48	11月18日	木	●			ボランティア講座(初級編)	生活協同組合バルシステム東京	後藤 麻理子
49	11月19日	金	●			中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾企画・評価委員会	東京ボランティア・市民活動センター	唐木 理恵子
50	11月23日	火	●			長浜市社会福祉大会	長浜市社会福祉協議会(滋賀県)	筒井 のり子
51	11月23日	火	●			生活支援体制整備事業 マッチングコーディネーター勉強会	長泉町社会福祉協議会(静岡県)	正田 恵子
52	11月24日	水	●			横浜地域包括支援センター職員研修 応用編	よこはま地域福祉研究センター	妻鹿 ふみ子
53	11月25日	木	●			社会福祉施設等ボランティアコーディネーター研修会	千葉市社会福祉協議会	後藤 麻理子
54	12月1・2日	水・木		●		福祉職員キャリアパス対応生涯研修(初任者)	東京都福祉人材センター	後藤 麻理子
55	12月2日	木		●		安芸太田町地域包括ケアシステム推進委員会	広島県安芸太田町	井岡 仁志
56	12月6日・20日	月		●		ボランティア強化セミナー	北海道社会福祉協議会	石井 祐理子
57	12月15日	水		●		中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾 ステップアップ編	東京ボランティア・市民活動センター	唐木 理恵子
58	12月21日	金		●		ボランティアコーディネーター現任研修	埼玉県社会福祉協議会	唐木 理恵子

2021 年度 寄付者名簿 (敬称を略します)

たくさんのご協力をいただきました。ありがとうございました！

青木 勝	唐木 理恵子	清水 由子	長谷部 治
青山 織衣	菅野 道生	白井 稔男	長谷部 俊介
赤石 千秋	菊池 哲佳	新堀 春輔	畠山 陽一
赤澤 清孝	菊池 浩史	新免 麻由美	畑中 祐美子
朝廣 和夫	北川 力	仙波 愛優佳	畑野 理美
足立 陽子	北出 真由美	大藤 毅	馬場 徹
阿部 今日子	國實 紗登美	高井 正	早瀬 昇
阿部 陽一郎	熊谷 紀良	高島 弘行	原田 優美
五十嵐 香織	熊澤 桂子	高橋 あゆみ	ヒギンズ 尚美
池田 幸也	熊澤 利和	高橋 紘之	疋田 恵子
石川 千種	公文 真理亜	高橋 義博	雛形 拓郎
石原 達也	倉本 泰孝	高原 信治	平野 幸子
市川 享子	栗原 穂子	高山 和久	平野 友康
伊東 和子	高口 貴子	田口 雄一	福島 明美
井上 大地	河野 尚美	武石 玲子	福谷 麻里
彌永 恵理	古賀 和広	竹田 純子	藤井 美香
岩井 俊宗	小関 隆志	竹脇 恵美	松本 まり子
岩浪 武司	小谷 広幸	田沼 綾	丸山 晃
上田 英司	後藤 麻理子	垂井 加寿恵	三田 響子
鵜尾 雅隆	小林 聖子	都賀 潔子	椋木 美緒
榎本 朝美	小森 義史	土崎 雄祐	武藤 祐子
江淵 桂子	斉藤 悦子	土田 清海	村上 直美
江森 謙太郎	坂口 和隆	筒井 のり子	妻鹿 ふみ子
大井 智香子	佐田 友紀	寺田 美和子	百瀬 真友美
大久保 朝江	佐藤 新哉	遠山 昌子	八木橋 克美
大澤 直子	佐藤 茂雄	戸田 千登美	矢島 万理
大橋 太郎	佐藤 匠	永井 美佳	山内 明子
大脇 正昭	佐藤 美恵	長沢 恵美子	山崎 美貴子
小笠原 滋	澤田 奈男	中谷 隆秀	山崎 智文
小柏 博英	澤田 麻理	長沼 豊	山下 興一郎
岡部 恭子	椎名 保友	長野 基	山田 一隆
岡村 公一	志藤 修史	中村 彰利	山ノ川 実夏
岡村 こず恵	篠田 正志	西川 正	吉田 建治
小野 貴規	柴田 英杞	二宮 克美	吉田 真也
小野寺 崇	柴田 かおり	野尻 紀恵	涌井 順子
海士 美雪	柴田 健次	橋口 文博	とす市民活動ネットワーク
鹿住 貴之	清水 昌代	橋詰 勝代	計 147 人 (団体)